

令和6年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	東京都	市町村類型	IV-3	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)				
				財政健全化等	×	歳入総額	112,436,142			111,809,665	実質収支比率			7.0	8.3		
市町村名	調布市	地方交付税種地	2-10	財源超過	○	歳入歳出差引	4,489,928	5,260,091	経常収支比率	92.0	89.4	(92.0)	(89.4)				
				首都	○	翌年度に繰越すべき財源	582,865	929,950	標準財政規模	55,492,071	52,455,735	財政力指数	1.22	1.18			
				近畿	×	実質収支	3,907,063	4,330,141	公債費負担比率	5.5	5.4	健全化判断比率	-	-	-	-	
人口	令和2年国調(人)	242,614	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	-423,078	積立金	1,078,588	602,654	健全化判断比率	-	-			
	平成27年国調(人)	229,061			過疎	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-	-	-			
	増減率(%)	5.9			山振	×	積立金取崩し額	807,755	1,406,300	連結実質赤字比率	-	-	-	-			
住民基本台帳人口(※7)	令07.01.01(人)	239,348	第1次	令和2年国調	594	平成27年国調	665	指数表選定	○	実質単年度収支	-152,245	-850,385	実質公債費比率	2.1	1.5		
	うち日本人(人)	233,814		0.6	0.7	標準財政収入額等	55,492,071	52,455,735	得実負担比率	24.9	1.8	資金不足比率(※4)	-	-			
	令06.01.01(人)	238,774	第2次	13,232	14,912	基準財政収入額	42,783,372	40,526,462	基準財政需要額	34,162,637	33,413,965	標準税収入額等	55,492,071	52,455,735			
	うち日本人(人)	233,665		13.4	15.6	経常経費充当一般財源等	53,405,571	49,532,401	歳入一般財源等	70,700,324	71,011,787						
	増減率(%)	0.2		84,904	80,115	地方債現在高	37,502,581	38,608,501	うち公的資金	5,433,797	5,866,650						
うち日本人(%)	0.1	第3次	86.0	83.7	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	35,437,220	36,041,136	債務負担行為額(支出予定額)	18,494,996	4,745,668	収益事業収入	60,000	60,000				
面積(km ²)	21.58		臨時職員	-	-	土地開発基金現在高	-	-	積立金現在高	43,628	43,522	減債基金	43,628	43,522			
人口密度(人/km ²)	11,243	職員数(人)	3,945,783	3,198	その他特定目的基金	20,301,591	20,297,017	財政調整基金	5,497,347	5,226,515	現在高	20,301,591	20,297,017				
世帯数(世帯)	120,945	ラスバイレス指数	99.8														
職員の状況(※8)																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	37,502,581	38,608,501	うち公的資金	5,433,797	5,866,650			
	市区町村長	1	10,350		一般職員	1,231	3,933,045	3,195	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	35,437,220	36,041,136	債務負担行為額(支出予定額)	18,494,996	4,745,668			
	副市区町村長	2	8,950		うち消防職員	-	-	-	収益事業収入	60,000	60,000	土地開発基金現在高	-	-			
	教育長	1	8,300		うち技能労務職員	81	264,546	3,266	財政調整基金	5,497,347	5,226,515	現在高	43,628	43,522			
	議会議長	1	6,400		教育公務員	3	12,738	4,246	減債基金	43,628	43,522	その他特定目的基金	20,301,591	20,297,017			
	議会副議長	1	5,800		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	5,497,347	5,226,515	現在高	43,628	43,522			
	議会議員	26	5,500		合計	1,234	3,945,783	3,198	その他特定目的基金	20,301,591	20,297,017	現在高	43,628	43,522			
						ラスバイレス指数	99.8										
一般会計等の一覧																	
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険事業特別会計	(6)	下水道事業会計	(7)	東京たまひなみ地域資源循環組合	(15)	調布エフエム放送			(16)	調布市土地開発公社	○			
(2)	用地特別会計	(4)	介護保険事業特別会計			(8)	東京都十一市競輪事業組合	(17)	調布市文化・コミュニティ振興財団			(18)	調布ゆうあい福祉公社				
		(5)	後期高齢者医療特別会計			(9)	東京都六市競艇事業組合	(19)	調布市スポーツ協会			(20)	コソクエア調布				
						(10)	東京市町村総合事務組合(一般会計)	(21)	調布市市民サービス公社								
						(11)	東京市町村総合事務組合(東京都市町村民交通災害共済事業特別会計)	(22)	調布市武者小路実篤記念館								
						(12)	東京都後期高齢者医療広域連合(一般会計)										
						(13)	東京都後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)										
						(14)	ふじみ衛生組合										

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・%）					地方税の状況（単位 千円・%）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	50,741,318	45.1	47,248,398	81.4	普通税	47,248,399	93.1	1,306,760	
地方譲与税	361,704	0.3	361,704	0.6	法定普通税	47,248,399	93.1	1,306,760	
利子割交付金	126,366	0.1	126,366	0.2	市町村民税	27,719,067	54.6	1,306,760	
配当割交付金	651,119	0.6	651,119	1.1	個人均等割	409,283	0.8	-	
株式等譲渡所得割交付金	950,522	0.8	950,522	1.6	所得割	21,546,449	42.5	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	700,652	1.4	-	
地方消費税交付金	5,934,766	5.3	5,934,766	10.2	法人税割	5,062,683	10.0	1,306,760	
ゴルフ場利用税交付金	12,058	0.0	12,058	0.0	固定資産税	18,067,773	35.6	-	
自動車取得税交付金	1,229	0.0	1,229	0.0	うち純固定資産税	17,164,755	33.8	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	158,345	0.3	-	
自動車税環境性能割交付金	132,498	0.1	132,498	0.2	市町村たばこ税	1,303,214	2.6	-	
法人事業税交付金	930,503	0.8	930,503	1.6	鉱産税	-	-	-	
地方特例交付金等	1,355,530	1.2	1,355,530	2.3	特別土地保有税	-	-	-	
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	221,394	0.2	221,394	0.4	法定外普通税	-	-	-	
定額減税減収補填特例交付金	1,132,551	1.0	1,132,551	2.0	目的税	3,492,919	6.9	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	1,585	0.0	1,585	0.0	法定目的税	3,492,919	6.9	-	
地方交付税	58,974	0.1	-	-	入湯税	-	-	-	
普通交付税	-	-	-	-	事業所税	-	-	-	
特別交付税	58,974	0.1	-	-	都市計画税	3,492,919	6.9	-	
震災復興特別交付税	138	0.0	-	-	水利地益税等	-	-	-	
(一般財源計)	61,256,587	54.5	57,704,693	99.4	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	21,179	0.0	21,179	0.0	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	1,095,159	1.0	-	-	合計	50,741,318	100.0	1,306,760	
使用料	1,025,787	0.9	258,113	0.4					
手数料	668,923	0.6	-	-					
国庫支出金	20,301,666	18.1	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	15,745,965	14.0	-	-					
財産収入	265,302	0.2	32,886	0.1					
寄附金	164,795	0.1	-	-					
繰入金	3,241,542	2.9	-	-					
繰越金	5,260,091	4.7	-	-					
諸収入	774,146	0.7	10,931	0.0					
地方債	2,615,000	2.3	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	-	-	-	-					
歳入合計	112,436,142	100.0	58,027,802	100.0					

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況（単位 千円・%）					
目的別歳入の状況（単位 千円・%）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	509,367	0.5	-	509,367	
総務費	12,627,276	11.7	747,842	10,672,496	
民生費	57,325,679	53.1	256,726	28,624,062	
衛生費	7,436,424	6.9	224,650	4,984,682	
労働費	306,352	0.3	-	262,478	
農林水産業費	117,374	0.1	-	103,444	
商工費	658,675	0.6	-	477,424	
土木費	9,978,823	9.2	3,991,702	5,667,438	
消防費	2,797,909	2.6	75,662	2,592,224	
教育費	12,274,103	11.4	1,753,095	8,423,279	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	3,914,232	3.6	-	3,902,814	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	107,946,214	100.0	7,049,677	66,219,708	

性質別歳入の状況（単位 千円・%）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	50,689,007	47.0	26,455,011	23,902,073	41.2
人件費	14,585,484	13.5	13,237,916	13,049,493	22.5
うち職員給	8,253,537	7.6	7,529,781	-	-
扶助費	32,189,291	29.8	9,314,281	6,949,766	12.0
公債費	3,914,232	3.6	3,902,814	3,902,814	6.7
元利償還金	3,913,303	3.6	3,901,885	3,901,885	6.7
内 うち元金	3,720,921	3.4	3,709,503	3,709,503	6.4
訳 うち利子	192,382	0.2	192,382	192,382	0.3
一時借入金利子	929	0.0	929	929	0.0
その他の経費	50,207,530	46.5	38,855,669	29,503,708	50.8
物件費	20,353,518	18.9	14,370,159	13,206,478	22.8
維持補修費	902,838	0.8	592,766	591,561	1.0
補助費等	15,512,973	14.4	11,851,323	10,234,702	17.6
うち一部事務組合負担金	1,049,140	1.0	1,049,140	910,683	1.6
繰出金	9,897,767	9.2	8,843,636	5,470,967	9.4
積立金	3,282,910	3.0	3,147,687	-	-
投資・出資金・貸付金	257,524	0.2	50,098	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	7,049,677	6.5	909,028	-	-
うち人件費	408,540	0.4	408,540	-	-
普通建設事業費	7,049,677	6.5	909,028	-	-
うち補助	1,687,172	1.6	264,750	-	-
うち単独	5,362,505	5.0	644,278	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	107,946,214	100.0	66,219,708	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 東京都調布市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	113,895	10,905	4,490	3,907	3,242	37,723	
2 用地特別会計	275	275	0	0	4	0	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

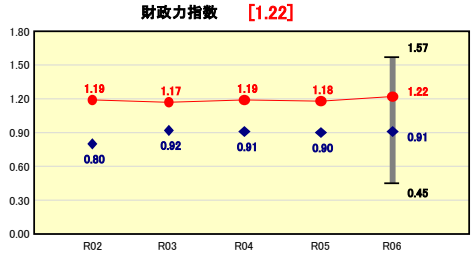
人口	239,348	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	233,814	人(R7.1.1現在)	連続実質赤字比率	-	%
面積	21.58	km ²	実質公債費比率	2.1	%
歳入総額	112,436,142	千円	将来負担比率	24.9	%
歳出総額	107,946,214	千円	市町村類型	R02 IV-1 R03 IV-3 R04 IV-3	
実質収支	3,907,063	千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	55,492,071	千円			
地方債現在高	37,502,581	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

令和6年度 東京都調布市

財政力



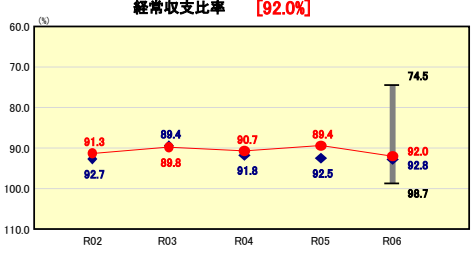
類似団体内順位 4/38 全国平均 0.49 東京都平均 0.73

財政力指数の分析欄

調布市は、昭和58年度以降42年連続不交付団体であり、財政力指数は前年度から上昇し、さらに類似団体と比較しても高いものとなっている。令和6年度は、基準財政需要額が子ども子育て費の増などにより前年度から増額となり、基準財政収入額についても、法人市民税の増などにより5%以上の増額となった。

自主財源の確保のため、収納方法の拡充など、市民の利便性向上に向けたきめ細かな対応と積極的な収納対策を講じて、市税収率の向上を図っていく。

財政構造の弾力性



類似団体内順位 11/38 全国平均 93.8 東京都平均 91.1

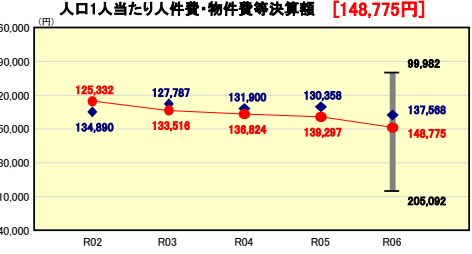
経常収支比率の分析欄

分母となる経常一般財源は、法人市民税や固定資産税の増による市税の増のほか、地方特例交付金や株式等譲渡所得割交付金の増により、前年度から26億7000万円余の増となった。

一方で、分子となる経常経費充当一般財源は、退職手当や学校給食補助金の増、会計年度任用職員勤労手当の増などにより、前年度から38億7000万円余の増となった。

分子側である歳出の増が、分母側である歳入の増を上回ったことから、前年度と比較して2.6ポイント上昇した。

人件費・物件費等の状況



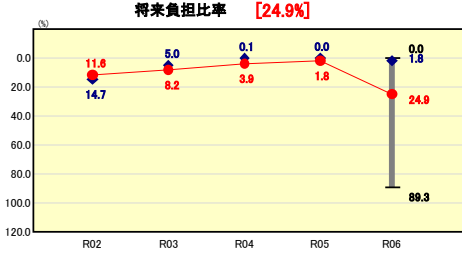
類似団体内順位 28/38 全国平均 189,281 東京都平均 159,156

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

全国平均及び東京都平均を下回っているが、人口1人当たり決算額が前年度と比較して9,478円増加している。

増加の要因として、人件費においては、会計年度任用職員の勤労手当の支給開始に伴う増や段階的な定年引上げに伴う一般職退職手当の増などが挙げられる。物件費においては、コロナワクチン接種の定期接種化に伴う高齢者定期予防接種費の増や定額減補給付金給付事業費の増などが挙げられる。引き続き、委託等の内容の再検証や投下コストの最適化など、経費削減に向けた取組を行っていく。

将来負担の状況



類似団体内順位 28/38 全国平均 6.2 東京都平均 0.0

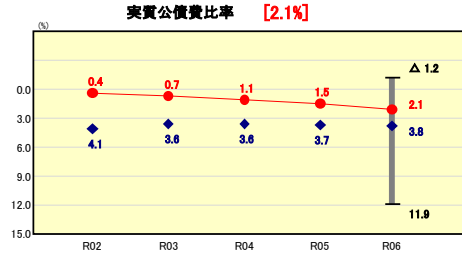
将来負担比率の分析欄

前年度から23.1ポイントの大幅な上昇となり、全国平均及び東京都平均を上回る水準となった。

比率上昇の大きな要因は、「将来負担額」のうち、「債務負担行為に基づく支出予定額」が前年度から115億7000万円余の増となる128億4000万円余となったことが挙げられる。このうちの113億円余は、令和6年度から令和23年度までを期間とするPFI方式による若葉小学校・第四中学校・図書館分館の整備によるものである。

引き続き、後年度負担に留意した財政運営に取り組んでいく。

公債費負担の状況



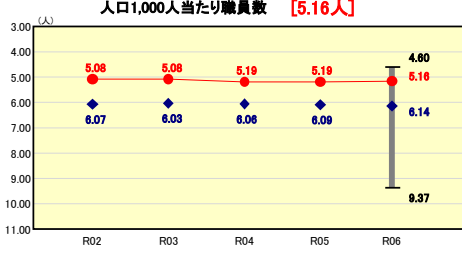
類似団体内順位 8/38 全国平均 5.6 東京都平均 1.0

実質公債費比率の分析欄

前年度と比較して0.6ポイント上昇したものの、前年度同様、全国平均及び類似団体内平均を下回る水準となっている。

悪化した要因としては、分子側の災害復旧費等基準財政需要額が減少したことや、準公債費の債務負担行為相当の増加などが挙げられる。

定員管理の状況



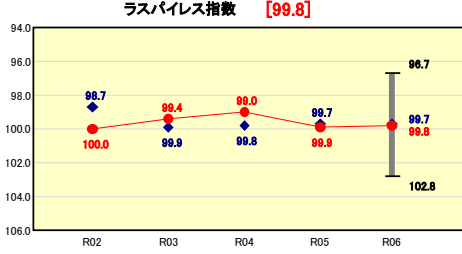
類似団体内順位 8/38 全国平均 8.41 東京都平均 6.03

人口1,000人当たり職員数の分析欄

前年度から0.03人減少し、前年度同様全国平均、類似団体平均及び東京都平均を下回る水準となっている。

「行革プラン2023」(令和5年度から令和8年度)に基づき、引き続き、組織人員の適正化などを推進していく。

給与水準(国との比較)



類似団体内順位 22/38 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4

ラスバイレス指数の分析欄

令和6年度は前年度から0.1ポイント低下したものの、全国市平均及び全国町村平均を上回る結果となっている。

引き続き、類似団体平均等を注視しながら、他団体比較等による給与構造改革を推進していく。

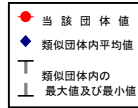
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

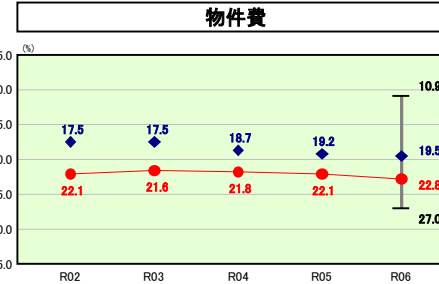
東京都調布市

経常収支比率の分析

人口	239,348	人(R7.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	233,814	人(R7.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	21.58	km ²	実収公債費比率	2.1	%
歳入総額	112,436,142	千円	将来負担比率	24.9	%
歳出総額	107,946,214	千円	市町村類型	R02 IV-1 R03 IV-3 R04 IV-3	
実収収支	3,907,063	千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	55,492,071	千円			
地方債現在高	37,502,581	千円			



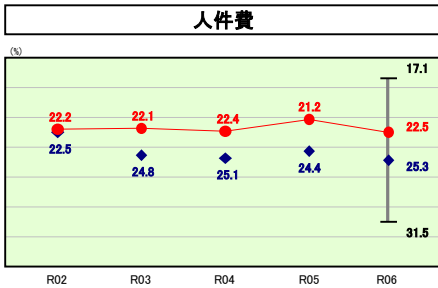
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 31/36 全国平均 15.6 東京都平均 21.0

物件費の分析欄

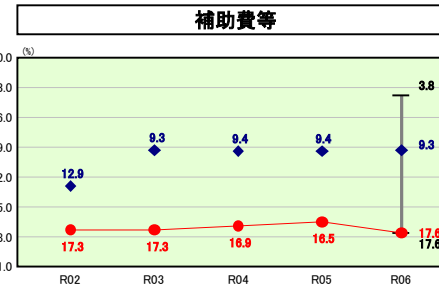
分子となる経常経費充当一般財源は前年度と比較して9億7千万円余の増となり、前年度から0.7ポイント上昇したものの、前年度同様、全国平均、東京都平均及び類似団体平均を上回る水準となっている。前年度からの主な上昇要因は、学童クラブ運営委託料の増や新規開設に伴う国領7丁目障害者施設運営経費の増などが挙げられる。
 今後においても、競争の原理を基本として、仕様の見直しを含め



類似団体内順位 10/36 全国平均 26.6 東京都平均 22.6

人件費の分析欄

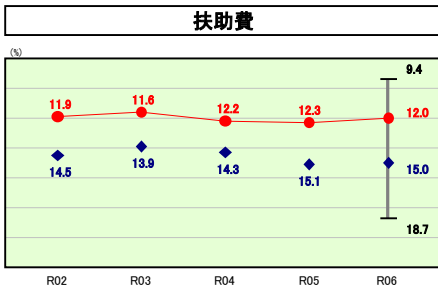
分子となる経常経費充当一般財源は前年度と比較して13億円余の増となり、前年度から1.3ポイント上昇したものの、全国平均、東京都平均及び類似団体平均を下回る水準となっている。前年度からの主な上昇要因は、段階的な定年引上げによる定年退職者の皆増に伴う一般職退職手当の増や会計年度任用職員の勤労手当の支給開始に伴う皆増などが挙げられる。
 引き続き、職務給の原則徹底のため、給与水準の適正化に取り



類似団体内順位 36/36 全国平均 10.7 東京都平均 11.2

補助費等の分析欄

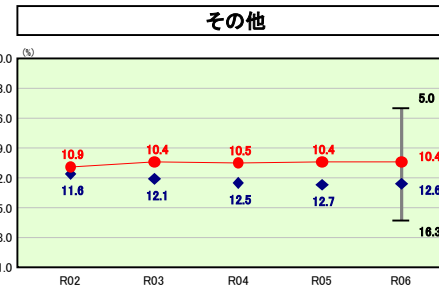
分子となる経常経費充当一般財源は前年度と比較して10億8千万円余の増となり、前年度から1.1ポイント上昇し、全国平均、類似団体平均及び東京都平均を上回っている。前年度からの主な上昇要因は、給食費無償化に伴う学校給食補助金の増やふじみ衛生組合処分費等負担金の増、保育所運営費等市単独助成費の増などが挙げられる。
 引き続き、補助・交付金などの適正化を推進し、補助費等総体の



類似団体内順位 3/36 全国平均 13.4 東京都平均 15.9

扶助費の分析欄

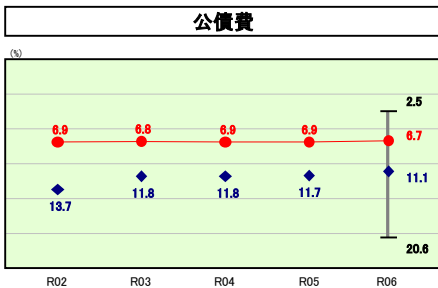
分子となる経常経費充当一般財源は前年度と比較して1億1000万円余の増となったものの、分子の増を分母の増が上回ったことにより、前年度から0.3ポイント低下し、引き続き、全国平均、東京都平均及び類似団体平均より低い水準となっている。分子側の前年度からの主な上昇要因は、障害者福祉サービス費の増などが挙げられる。
 引き続き、市単独事業の再検証、所要コストの縮減検討など、扶



類似団体内順位 5/36 全国平均 12.5 東京都平均 12.2

その他の分析欄

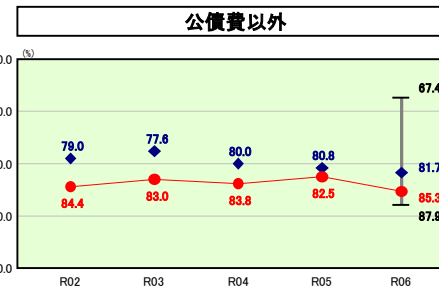
維持補修費と繰出金が該当。分子となる経常経費充当一般財源は前年度と比較して維持補修費は微減となり、繰出金は介護保険事業会計繰出金の増などにより、差引3億円余の増となった。一方、分母となる経常経費充当一般財源も増となったため、前年度と同ポイントとなり、全国平均、類似団体平均及び東京都平均を下回っている。
 引き続き、各特別会計の執行状況を的確に把握し、繰出金の適



類似団体内順位 4/36 全国平均 15.0 東京都平均 8.2

公債費の分析欄

分子となる経常経費充当一般財源は前年度と比較して1億円余の増となったものの、分母の増に伴い、前年度から0.2ポイント減となり、前年度同様、全国平均、東京都平均及び類似団体平均を下回る水準となっている。
 増要因としては、教育償元金償還費や総務償元金償還費の増が挙げられる。



類似団体内順位 30/36 全国平均 78.8 東京都平均 82.9

公債費以外の分析欄

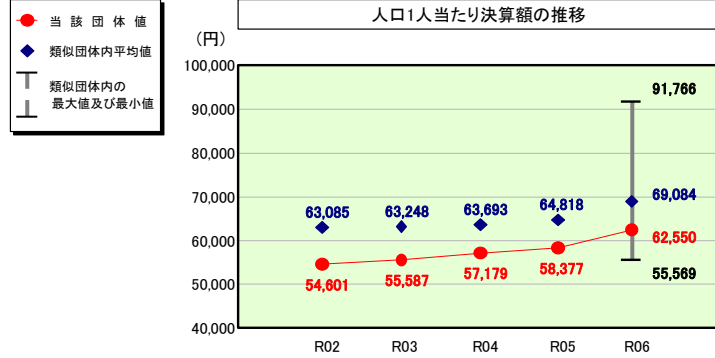
前年度から2.8ポイント上昇しており、全国平均、類似団体平均及び東京都平均を上回っている。
 他団体と比較して、物件費・補助費等が高い水準にあるため、今後も財政の弾力性・財政構造の見直しに努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

東京都調布市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

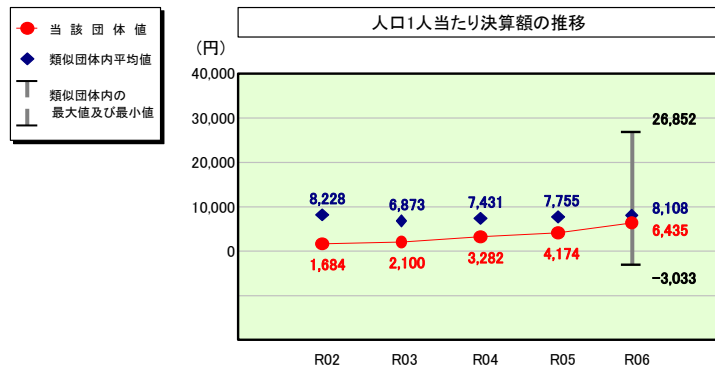
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	14,585,484	60,938	66,742	▲ 8.7
一部事務組合負担金(補助費等)	106,079	443	1,287	▲ 65.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	67,328	281	1,074	▲ 73.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	41	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	445,170	1,860	2,303	▲ 19.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	408,540	1,707	1,496	▲ 14.1
▲退職金	▲ 641,303	▲ 2,679	▲ 3,858	▲ 30.6
合計	14,971,298	62,550	69,084	▲ 9.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.16	6.14	▲ 0.98
ラスパイレース指数	99.8	99.7	0.1

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

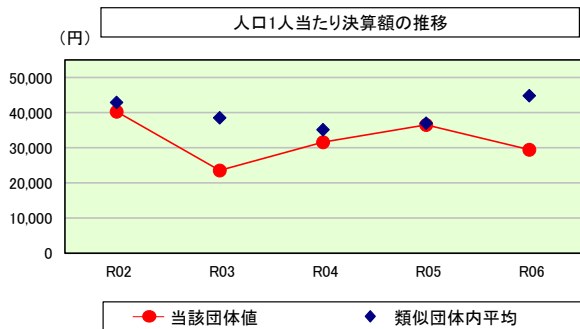
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,934,594	16,439	26,372	▲ 37.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	3	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	27	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	341,078	1,425	5,235	▲ 72.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	100,874	421	476	▲ 11.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	175,672	734	969	▲ 24.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	-	-
▲特定財源の額	▲ 1,689,777	▲ 7,060	▲ 7,307	▲ 3.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,322,212	▲ 5,524	▲ 17,667	▲ 68.7
合計	1,540,229	6,435	8,108	▲ 20.6

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R02	9,584,333	40,302	▲ 6.2	42,898	▲ 16.0	9.8
うち単独分	6,353,441	26,716	▲ 10.8	21,022	▲ 10.1	0.7
R03	5,606,206	23,562	▲ 41.5	38,566	▲ 10.1	31.4
うち単独分	4,100,800	17,235	▲ 35.5	24,059	▲ 14.4	49.9
R04	7,538,552	31,608	34.1	35,156	▲ 8.8	42.9
うち単独分	5,805,300	24,340	41.2	22,430	▲ 6.8	48.0
R05	8,723,870	36,536	15.6	37,029	5.3	10.3
うち単独分	7,300,791	30,576	25.6	23,232	3.6	22.0
R06	7,049,677	29,454	▲ 19.4	44,805	21.0	▲ 40.4
うち単独分	5,362,505	22,405	▲ 26.7	29,857	28.5	▲ 55.2
過去5年間平均	7,700,528	32,292	▲ 3.5	39,691	▲ 1.7	▲ 1.8
うち単独分	5,784,567	24,254	▲ 1.2	24,120	5.9	▲ 7.1

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

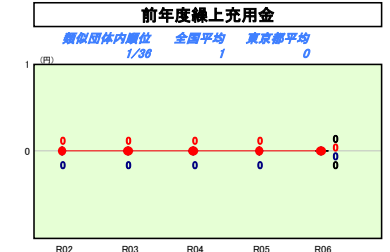
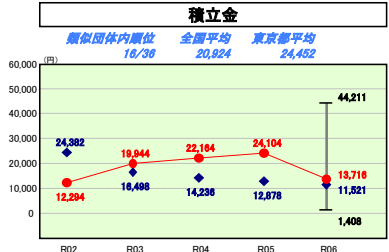
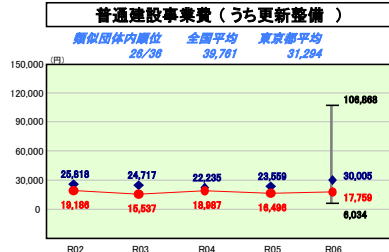
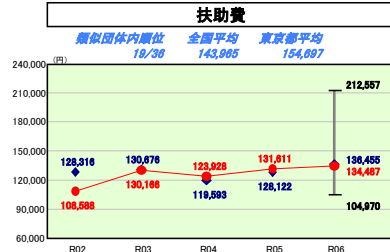
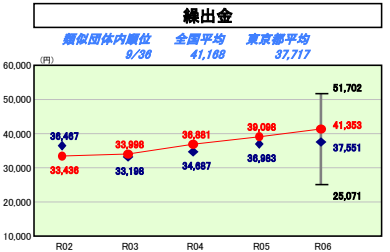
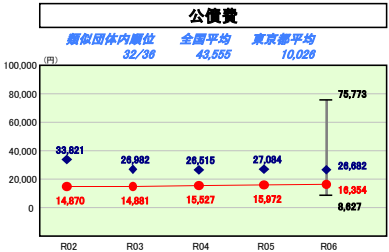
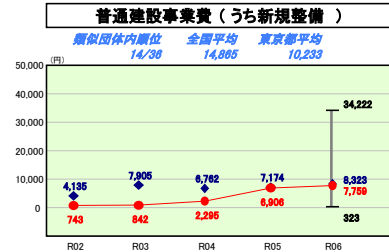
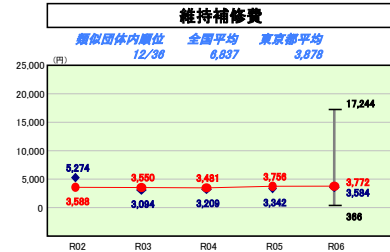
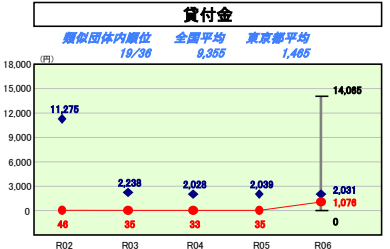
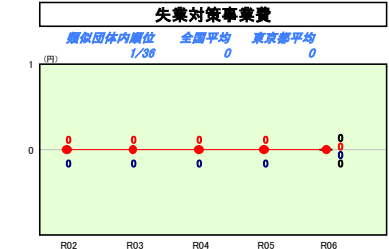
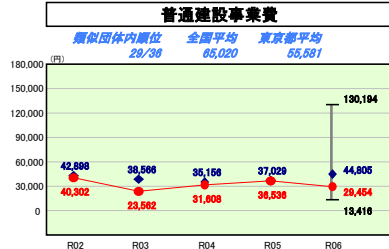
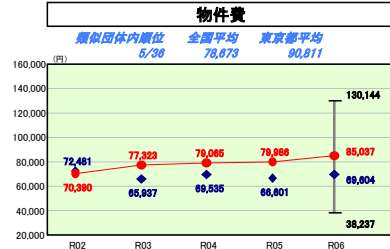
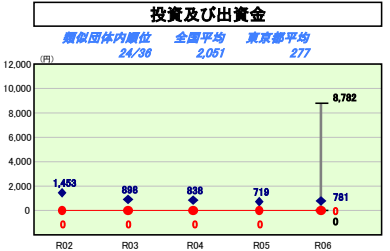
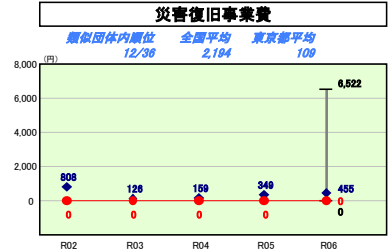
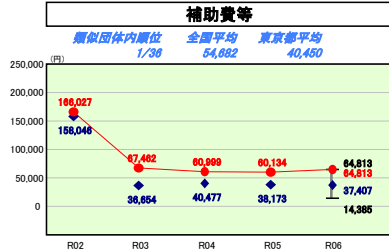
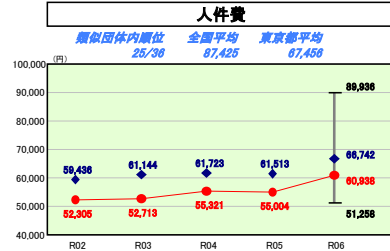
令和6年度

東京都調布市

人口	230,348 人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	233,814 人(R7.1.1現在)	通称実質赤字比率	-	%
面積	21.58 km ²	実質公債費比率	2.1	%
歳入総額	112,436,142 千円	将来負担比率	24.9	%
歳出総額	107,946,214 千円	市町村類型	R02 IV-1 R03 IV-3 R04 IV-3	
実収支	3,907,093 千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
繰越財政規模	55,492,071 千円			
地方債残高	37,502,561 千円			

◆ 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
↑ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

住民1人あたりのコストでは、物件費や補助費等が他団体と比較して高い水準にあり、特に、補助費等については、類似団体内の順位が1位となっている。この大きな要因としては、過去に待機児童対策として整備した民間保育所に対する運営費助成が多額となっていることが挙げられる。また、令和6年度においては、①市内の公立小・中学校の学校給食費無償化に伴う学校給食補助金の増②三鷹市と調布市で構成されるふじみ衛生組合のリサイクルセンター更新に伴う負担金の増③下水道事業会計への繰出金の増(降水量の増に伴う流域下水道維持管理負担金の増など)などにより増となった。引き続き、中長期的な視点から将来負担の抑制に努めるとともに、補助費等や物件費における臨時的事業に係る見直しなどを通じ、一層の適正化を推進していく。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

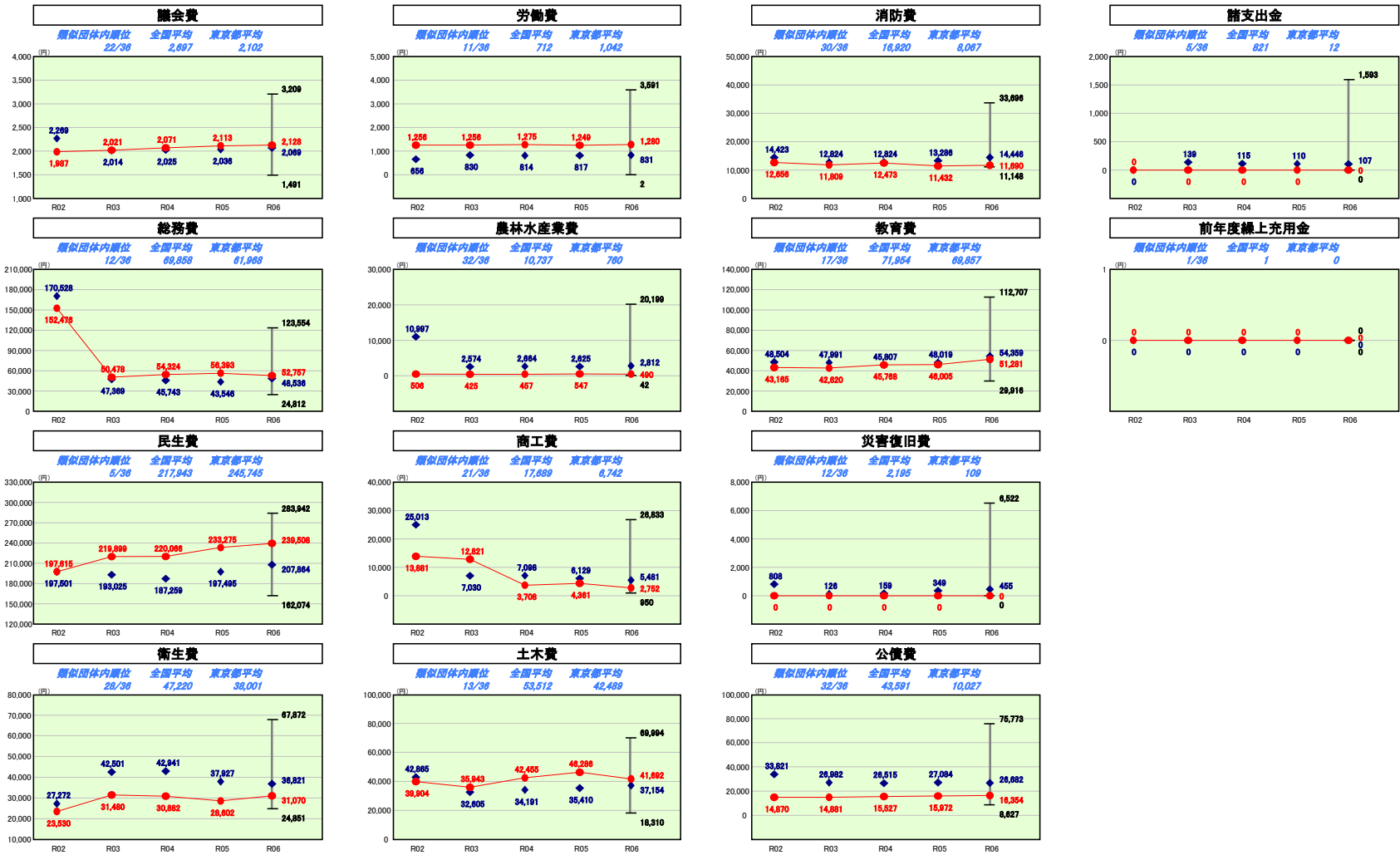
令和6年度

東京都調布市

人口	230,348人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	233,814人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	21.58km ²	実質公債費比率	2.1	%
歳入総額	112,436,142千円	将来負担比率	24.9	%
歳出総額	107,946,214千円	市町村類型	R02 IV-1 R03 IV-3 R04 IV-3	
実収支	3,907,063千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	55,492,071千円			
地方債残高	37,502,561千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



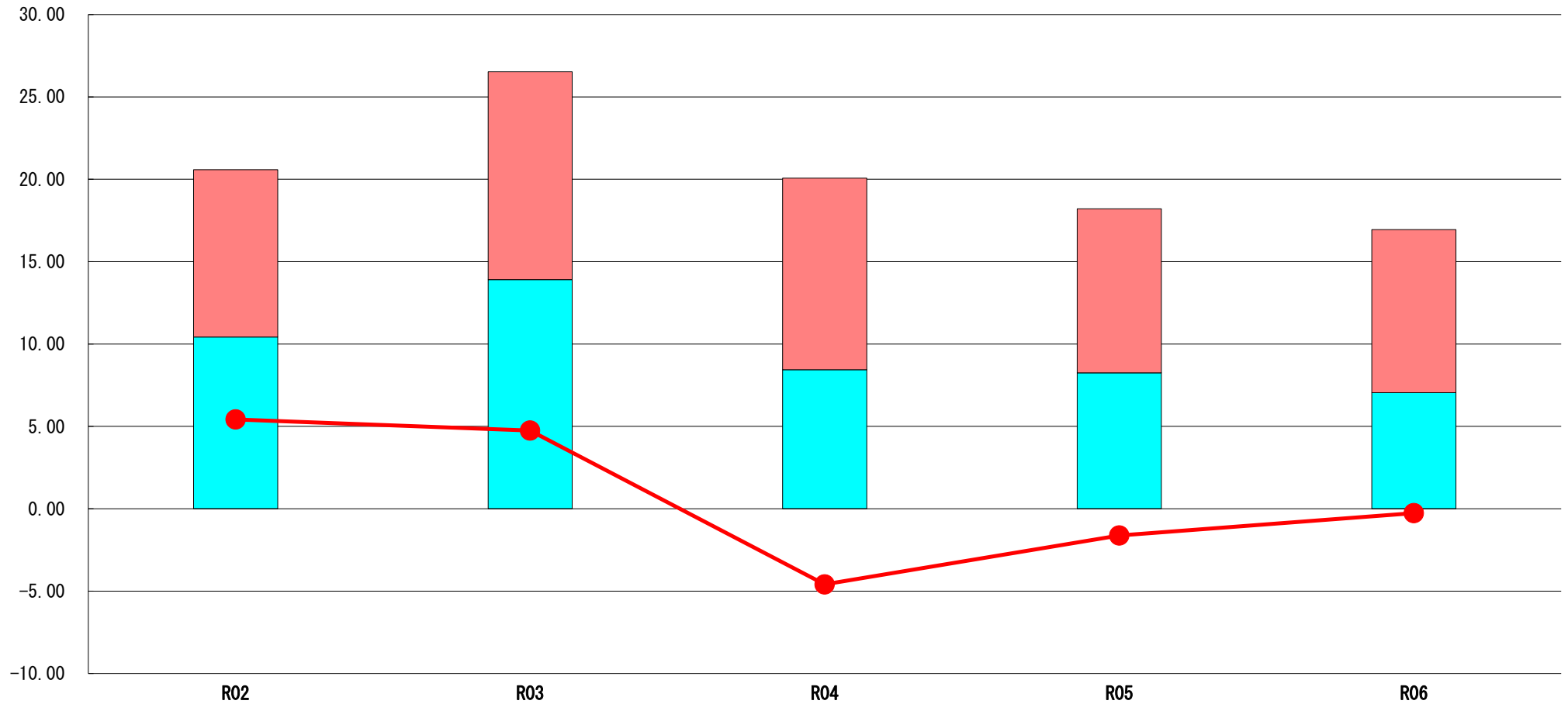
目的別歳出の分析概
類似団体平均と比較すると、特に民生費が高い水準にあり、引き続き増加傾向にある。民生費が類似団体よりも高い要因としては、性質別歳出決算分析に記載の内容と同様に、待機児童対策として整備した民間保育所への私立保育所運営委託料が、公定価格の上昇に伴い、年々増加していることが挙げられる。また、障害者福祉サービス費などの社会保障関係経費も増加傾向にある。今後も、増加傾向にある社会保障関係経費のほか、公共施設マネジメントや都市基盤整備、災害対応能力の向上、脱炭素社会の実現、デジタル化の推進など、多大な財政需要が見込まれるが、財源確保の取組と事業の見直しによる経費縮減に努めていく。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和6年度

東京都調布市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		10.16	12.61	11.63	9.96	9.91
 実質収支額		10.42	13.91	8.44	8.25	7.04
 実質単年度収支		5.42	4.75	▲ 4.59	▲ 1.62	▲ 0.27

分析欄

令和6年度は、法人市民税や固定資産税の増、定額減税減収補てん特例交付金や株式等譲渡所得割交付金の増などにより、最終予算額を上回る収入を確保し、併せて経費縮減に努めたことにより、39億円余の実質収支を確保した。

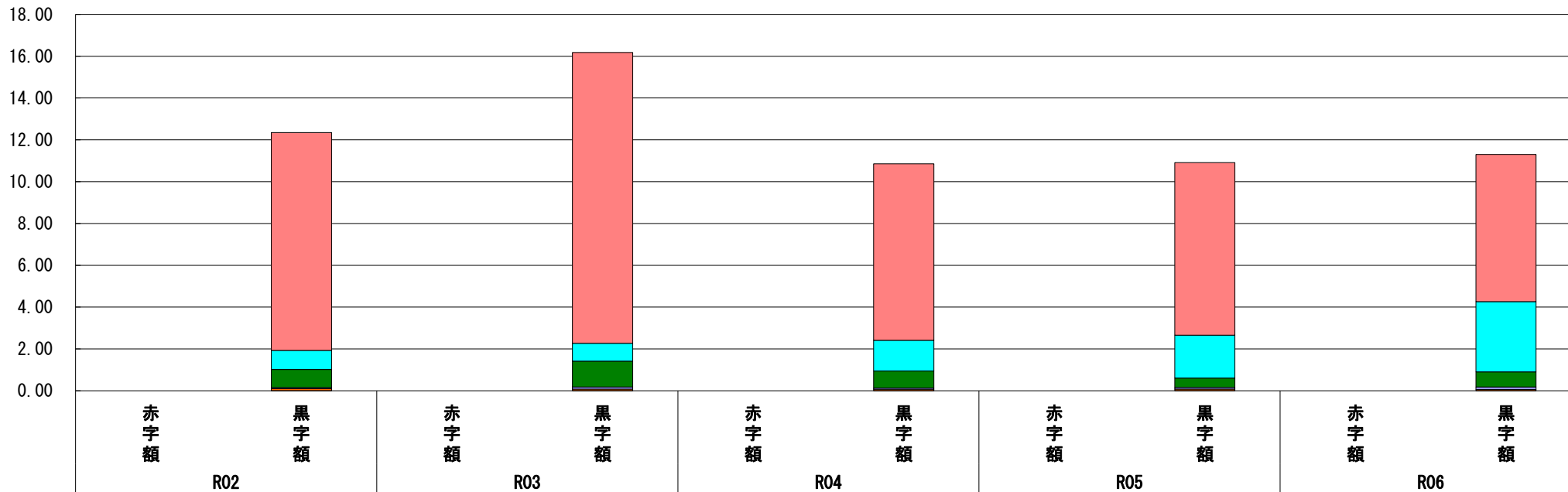
また、実質単年度収支は、前年度対比で歳入総額よりも歳出総額の増が上回ったことによる単年度収支の減に伴いマイナスとなった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和6年度

東京都調布市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
一般会計		10.42	13.91	8.44	8.25	7.04
下水道事業会計		0.91	0.85	1.46	2.05	3.36
介護保険事業特別会計		0.87	1.24	0.82	0.45	0.72
国民健康保険事業特別会計		0.05	0.10	0.06	0.08	0.12
後期高齢者医療特別会計		0.10	0.08	0.07	0.08	0.06
用地特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

令和6年度は、一般会計において、法人市民税や固定資産税の増、定額減税減収補てん特例交付金や株式等譲渡所得割交付金の増などにより、最終予算額を上回る収入を確保し、併せて経費縮減に努めたことにより、39億円余の実質収支を確保した。

しかし、定年退職者の皆増に伴う一般職退職手当の増や会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始に伴う皆増、給食費無償化に伴う学校給食補助金の増などにより一般財源の負担が増加し、歳出の増が歳入の増を上回った結果、黒字額が減となった。

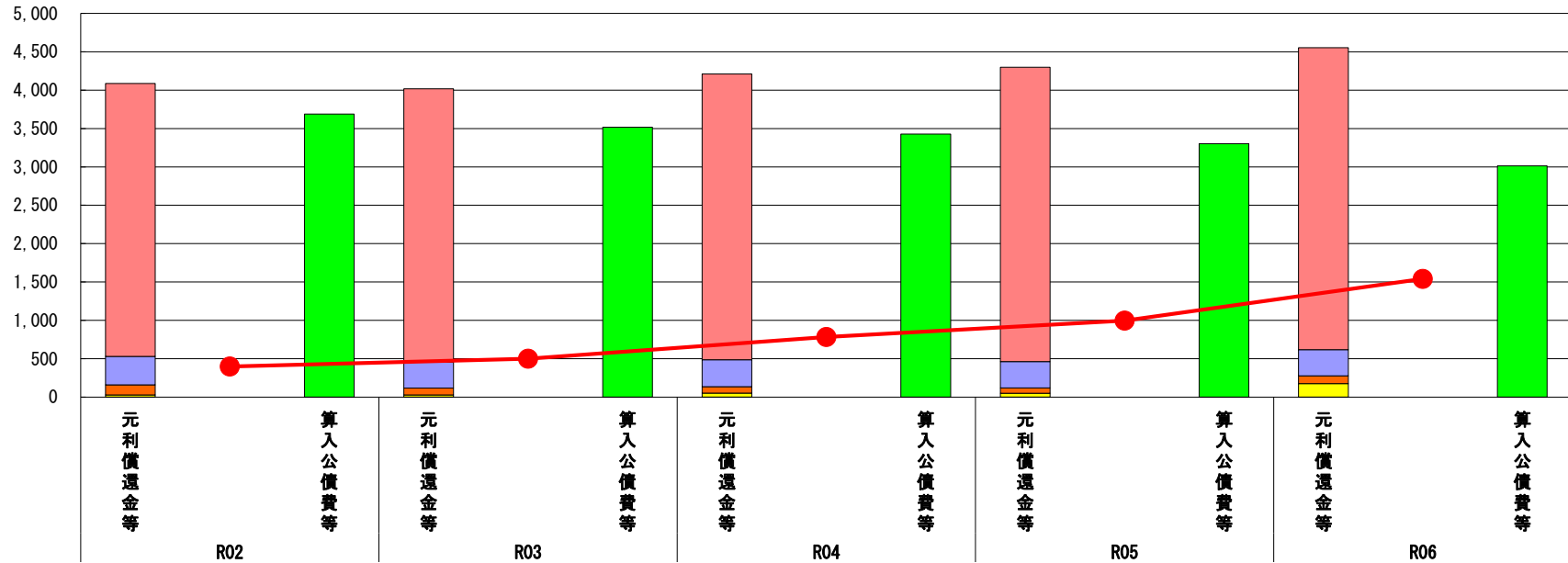
その他の会計では、主に下水道事業会計の歳入の伸びが歳出の伸びよりも大きいことなどから、黒字額が増となった。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

東京都調布市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,557	3,562	3,725	3,835	3,935
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		370	337	349	342	341
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		132	90	84	70	101
	債務負担行為に基づく支出額		28	28	53	51	176
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,688	3,517	3,428	3,302	3,012
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		399	500	783	996	1,541

分析欄

実質公債費比率における分子について、前年度と比較して増となった主な要因は、臨時財政対策債償還費の減に伴う算入公債費等の減のほか、調布駅前広場整備に伴い債務負担行為に基づく支出額が増となったことが挙げられる。

今後も引き続き、世代負担の公平化と将来負担のバランスを見据えた市債適用や最良の資金調達を検討し、中長期的な視点から健全な財政運営を行っていく。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等 (注)		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

分析欄

利用なし

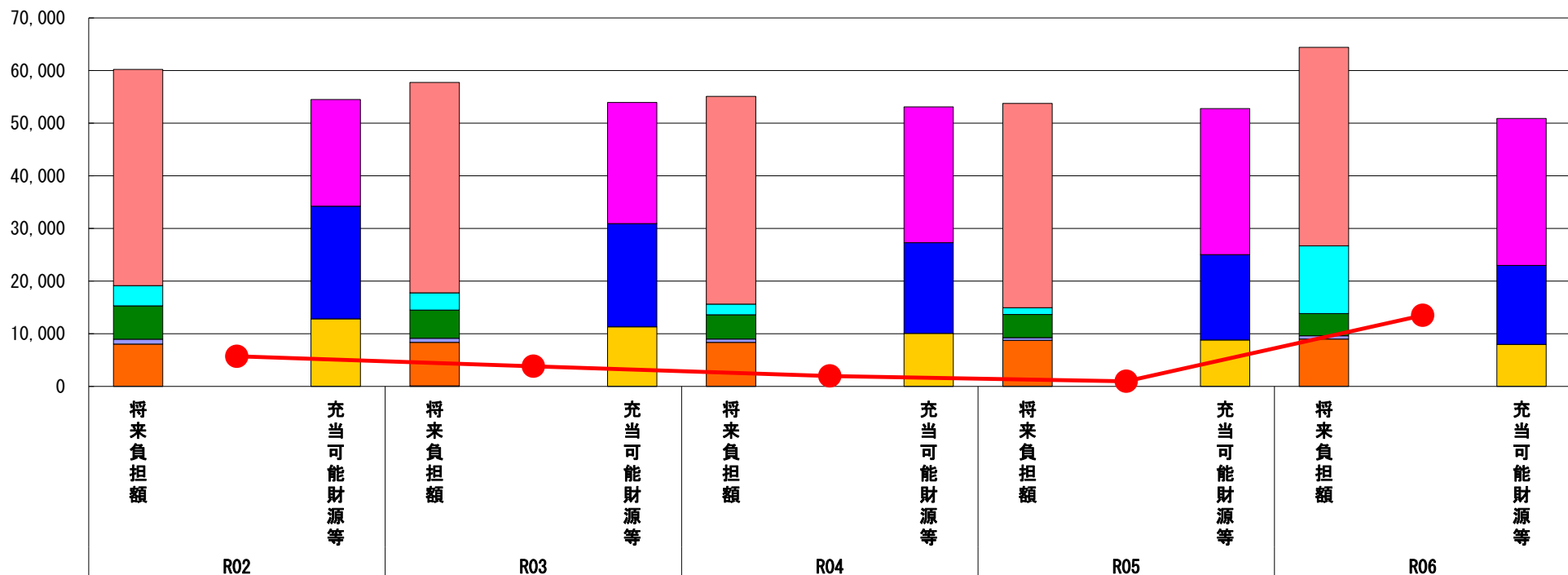
(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

東京都調布市

(百万円)



(百万円)

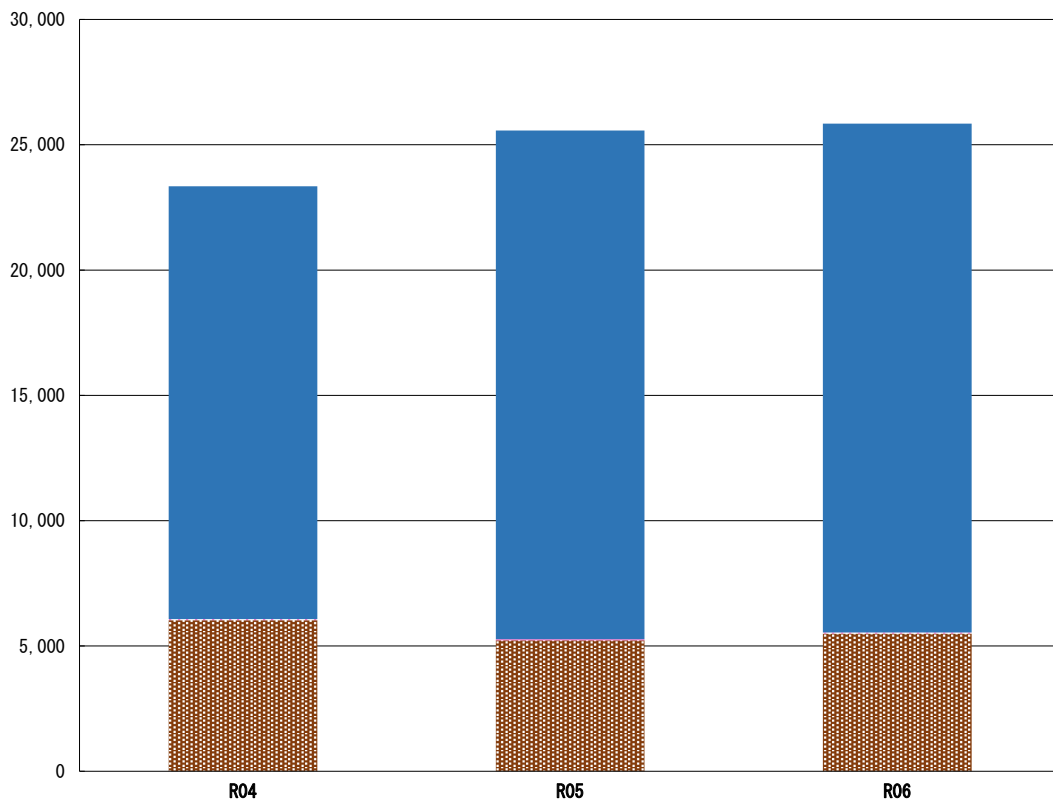
分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		41,090	39,966	39,457	38,815	37,723
	債務負担行為に基づく支出予定額		3,817	3,284	2,044	1,272	12,850
	公営企業債等繰入見込額		6,349	5,366	4,612	4,419	4,212
	組合等負担等見込額		925	776	628	482	632
	退職手当負担見込額		8,044	8,277	8,355	8,767	8,998
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	81	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		20,280	22,996	25,805	27,764	27,920
	充当可能特定歳入		21,390	19,615	17,260	16,201	15,002
	基準財政需要額算入見込額		12,841	11,319	10,052	8,824	7,995
(A) - (B)	将来負担比率の分子		5,713	3,820	1,980	967	13,498

分析欄

将来負担比率における分子について、前年度と比較して増となった主な要因として、債務負担行為に基づく支出予定額が115億7000万円余の増となったことが挙げられる。この増のうちの113億円余が、R6年度からR23年度までを契約期間とする若葉小・四中・図書館分館のPFI事業による建設事業費等の新規計上分となっている。今後も引き続き、後年度負担の抑制を基本とし、基金積立に優先的に財源配分し、財源基盤の強化に取り組んでいく。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		6,030	5,227	5,497
減債基金		44	44	44
その他特定目的基金		17,269	20,297	20,302
公共施設整備基金		10,528	11,672	12,023
都市基盤整備事業基金		3,019	4,055	3,856
ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金		1,802	1,923	1,900
市庁舎整備基金		-	1,000	1,103
井上欣一社会福祉事業基金		1,277	1,085	921
基金残高合計		23,343	25,567	25,843

令和6年度

東京都調布市

基金全体

（増減理由）
 公共施設マネジメントや都市基盤整備の財源として、それぞれ公共施設整備基金や都市基盤整備事業基金を活用したほか、財源対策としての財政調整基金を活用するなど合計30億円余を取り崩した。
 一方、中・長期的な財政需要を見据え、前年度繰越金や市税等の増収分を財政調整基金、公共施設整備基金、都市基盤整備事業基金などに積み立てたほか、基金残高の運用による利子収入や寄附金を活用した積立てにより、合計32億8000万円余を積み立てた結果、基金残高は前年度末と比較して2億7000万円余増加した。

（今後の方針）
 財政規律ガイドラインに基づく財政基盤強化の視点により、前年度繰越金活用や財政効果額の積立てを行い、中長期の行政需要を見据えた財政基盤の強化につなげていく。

財政調整基金

（増減理由）
 前年度繰越金活用計画等に基づき、繰入額8億円余を上回る10億7000万円余の積立てを行ったことから、2億7000万円余の増となった。

（今後の方針）
 急な社会経済状況の変化による市税等の減収や不測の追加財政需要などへの備えとして、財政規模、市税収入額の推移を踏まえて残高の確保を図る。

減債基金

（増減理由）
 現状、減債基金を活用した市債の償還を行っていないため、残高の利子収入の積立分が残高の増となっている。

（今後の方針）
 市債の繰上償還や、公債費の増への備えの必要性を検討する中で、必要な残高を確保することとする。

その他特定目的基金

（基金の用途）
 ・ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金：自然樹林地及び緑地の保全、緑化推進その他の自然環境等の保全及び育成に活用するための基金。
 ・井上欣一社会福祉事業基金：社会福祉事業を行う施設の設置または拡充に充てる資金のほか、地域の社会福祉に係るサービスを行う事業の運営に活用するための基金。
 ・市庁舎整備基金：調布市市庁舎の新築、増築、改築及び保全の資金に充てるための基金。

（増減理由）
 ・公共施設整備基金：公共施設マネジメントに活用するため、前年度繰越金活用計画等に基づいて実質収支を積立てたことにより増加。
 ・市庁舎整備基金：財政規律ガイドラインに基づく財政基盤強化の視点に基づき、当初予算等によって計画的な積立てを行ったことにより増加。
 ・都市基盤整備事業基金：前年度繰越金活用計画等に基づき3億2000万円余の積立を行ったものの、中心市街地整備事業等への活用のため、5億2000万円余を繰入れたことにより減少。

（今後の方針）
 ・都市基盤整備事業基金：都市基盤の整備等を円滑に進めていくため、まちづくり協力金や各年度の繰越金活用などを原資として基金に積み立て、財源確保を図る。
 ・公共施設整備基金：公共施設の老朽化などを踏まえ、公共施設マネジメントに要する財源を確保できるよう、財政規律ガイドラインに基づく財政基盤強化の視点により優先的に財源配分を行う。
 ・ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金：緑地保全等に係る土地開発公社からの用地買戻しなどに対応できる安定した基金活用のために、